



JASDAQ

平成 24 年 7 月 6 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
株式会社ファンドクリエーショングループ
代表取締役社長 田 島 克 洋
(コード番号：3266)
問合せ先： 経営企画部長 吉田 隆
電話番号： (03) 5212-5212(代表)

Enolia Premium Capital SIF(S.C.A.)との覚書(MOU)締結に関するお知らせ

当社の完全子会社である株式会社ファンドクリエーションは、平成 24 年 7 月 6 日付の同社取締役会において、太陽光発電事業投資ファンドである Enolia Investment Partners Sarl (会長：Konstantinos Mitropoulos) を業務執行者とする Enolia Premium Capital SIF(S.C.A.) (登録地：ルクセンブルグ) と覚書 (MOU) を締結することを決議いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 覚書 (MOU) 締結の目的

東日本大震災以降、世界規模でエネルギーの考え方が見直されていますが、太陽光発電は、安全かつ地球にやさしい新たなエネルギーとして注目されています。当社グループとしましては、新たなファンドビジネスを立ち上げ収益源を確保することが今後の取組むべき課題であると考え、2012 年年初より太陽光発電事業の検討を開始しました。また、2012 年 7 月より再生可能エネルギーの固定価格買取制度が本格的にスタートし、太陽光発電事業が投資対象として魅力が増してきたことで当社においても参入機会を窺っていました。そのような状況下、パートナー企業を探していたところ当社グループのアドバイザーより紹介があり、既に欧州で太陽光発電事業投資の実績を有し、技術・資金調達力のある Enolia Premium Capital SIF(S.C.A.) と覚書 (MOU) を締結するに至りました。

株式会社ファンドクリエーションとしては、太陽光発電事業投資ファンドに参入するにあたって、社内および幅広い知識と経験、様々な技術を持つ社外有識者でプロジェクトチームを発足させ、太陽光発電事業という電力不足対策や環境負荷低減を担う社会的事業に参画することを目的としたいと考えております。

2. 覚書 (MOU) の内容

当社グループは、不動産ファンド事業で培ったアセットマネジメントの経験を活かし、当社グループ全体で事業用地のソーシング、SPC のストラクチャリング、ファイナンス・アレンジメント、ファンド管理等を行います。一方、Enolia Premium Capital SIF(S.C.A.) は投資家からの資金調達を行うことにより、株式会社ファンドクリエーションが組成する日本における太陽光発電事業等に投資を実行する予定です。

3. Enolia Premium Capital SIF(S. C. A.)の概要

(1) ファンド名	Enolia Premium Capital SIF(S. C. A.)
(2) 登録地	ルクセンブルグ
(3) 業務執行者	Enolia Investment Partners Sarl
(4) ファンドの内容	再生可能エネルギーや自然エネルギーへの投資
(5) ファンド規模	非開示
(6) 設立年月日	2007年2月13日
(7) 出資者	非開示
(8) 当社との関係	資本関係、人的関係及び取引関係はございません

4. 日程

取締役会決議 平成24年7月6日

覚書締結日 平成24年7月6日

5. 今後の業績に与える影響

本覚書(MOU)締結に伴う今後の業績に与える影響につきましては、現時点では未定でありますので判明次第お知らせいたします。

以上